東日本大震災：被災地復興支援事業

写真が語る シニアの復興支援 10 年

磯島茂男（会員）榊 豊和（理事）

はじめに

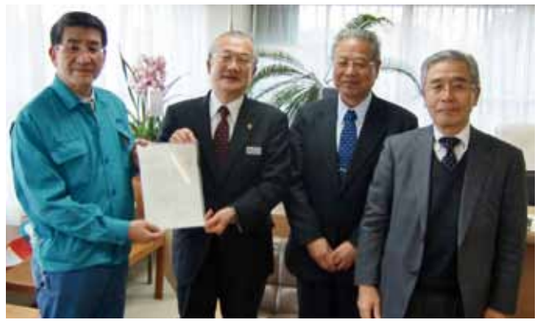
3.11 の津波で大きな被害を受けた大船渡市に国境なき技師団は 2012 年 4 月、先ず二人のシニア技術者を市役所・建設課に派遣、災害調査を開始。無残に破壊された多くの構造物に呆然とし、現場に佇む住民に声をかけることから復興支援が始まった。

その後、陸前高田市にも支援を拡げ、計 11 名の土木・建築技術者が被災地に赴き、10 年の年月が経過した。

陸前高田・気仙川の上流に流された橋桁の残骸。

2,012 年 4 月～ 6 月、シニア派遣の一番手として、小嶋啓市さん (左)、植村比三彦さん (右)

派遣契約の調印



2012 年 3 月、派遣契約の調印、
濱田理事長、戸田公明・大船渡市長、 右に磯島氏,
榊氏

2013 年 6 月、陸前高田市・戸羽市長
派遣契約後、濱田理事長が表敬訪問。

シニア技術者の年度別派遣実績

派遣先	技術者	年度										
		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
大船渡市	土木	震災3・11	4人	1人								
	建築		2人	3人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
陸前高田市	土木			1人	1人	2人	1人	1人				
	建築											
技術者数			6人	5人	3人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	1人

	総面積	20 1 0年人口	2021 年人口	津波犠牲者数
大船渡市	322.51km2	40,738	34,605	419
陸前高田市	231.94 km2	23,302	18,176	1,757

（数値データは市ホームページより引用）

大船渡市　インフラの復旧 / 復興

2012 年 9 月～ 2013 年 3 月（7 か月）京野忠さん 65 歳 (左)、10 月～ 3 月（8 か月）
竹嶋正勝さん 68 歳 (右)。二人は建設課にて地域道路の復興計画に従事した。
写真左は建設課室内で、右は道路現場。

復興の海：瓦礫の沈む海は透き通って

津波の跡：鎮魂の意味を込め、菊は増やして描きました

水彩画：竹嶋氏は漁師の網元の家 (右の写真) を宿舎にしていましたが、休日は三陸の海を趣味の写生に出かけていました。その 2 枚です。

海岸近くを走る鉄道、防潮堤などが破壊されました。

災害公営住宅など建築関連

2012 年 7 月～ 3 月（9 か月）、山田伸良さん（当時 62 歳 建設会社 OB) 建築技術者の派遣一番手。災害公営住宅の施工管理の写真。

2012 年 12 月、平山則男さんは津波で破壊された市営建築物の復旧工事を担当。

2012 年 9 月～ 12 月 (9 か月)、平山則夫さん（当時 62 歳・左)、2013 年 11 月～ 2020 年現在、高橋博光さん（当時 64 歳・右)、大船渡市役所の前で。
二人は同じ建設会社 OB. 平山さんの後任として教育委員会にて小中学校の復興と保全を担当。

2013 年 10 月、萩野良允さんが大船渡市役所で執務の様子。「災害危険区域の指定」がテーマであった。

2013 年 10 月、鈴木嵒さん（左）と高橋博光さん被災民の住宅再建に関した相談を受けていた。
二人とも建築技術者。

2014 年 5 月、芳賀正男さん、建築技術者。
建設会社 OB。陸前高田市に生まれ育った。故郷の復興支援に駆けつけた。当時 59 歳。

2014 年 5 月、高橋博光さん。教育委員会と学校の間に立って、自らの手で学校保全に尽力した。

宮城県　気仙沼の惨状
(技師団から派遣は無く、調査対象域でした)

気仙沼漁港の建物崩壊

宮城県・気仙沼市

総面積	2011・人口	2020・人口	犠牲者数
332.4KM2	73,489 人	59,504 人	1,432 人

シニアが集まり情報共有

2013 年 10 月、大船渡市役所の前で。
左から磯島副理事長、高橋博光さん、鈴木嵒さん、
平山則男さん、萩野良允さん、榊理事。

2014 年 5 月、戸田公明市長との面談。
磯島茂男氏、榊豊和氏。

2013 年 3 月、この時期には派遣者 6 名が大船渡に
駐在していた。
後列；榊、京野、竹嶋、萩野 (中腰)
前列；山田、鈴木、平山、

新設された防潮堤

陸前高田市の復興

2014 年 5 月、陸前高田市に一番手で駐在した高橋剛弘さん当時 67 歳。設計会社にて造成工事は経験豊富。
都市計画課にて津波で壊滅した市街地の再生を担当。山の斜面に造られた仮設住宅に住み市役所に通勤した。

陸前高田市の再生は山を削り、コンベアで土運搬して地盤を嵩上げした。

2015 年 6 月、萩野さんが大船渡市から陸前高田市
に移り、仮設住宅が宿舎。

2017 年 10 月、萩野さん、陸前高田市の高台には新
しい住宅が建ち始めた。

あとがき

大船渡市・三陸町はリアス式海岸に沿って位置した漁業の盛んな町です。山地に向かって行くと電柱の掲示に注目しました。
「震災は忘れたころにやってくる」明治 29 年 (1896) の三陸大津波の記録を示しています。その津波高さ 38.2 メートル　です。115 年後、2011 年に津波は再び襲来しました。
2020 年は 全世界がコロナの襲来を受け大きな災害となりました。最近撮った高橋博光さんの執務中の写真ですが、皆さん
マスクを着用しています。
2021 年もシニア技術者の派遣は継続します。

(撮影・編集：榊豊和)